



TOEIC® Programで未来の可能性を広げる

NEWSLETTER

ニュースレター

インタビュー

筑波大学 永田恭介学長
英語力の向上が発信力を大きく変える！

未来を
変えたい
人に。



Contents

[特集] 筑波大学

“トランスポーダー大学”が目指す
国際人材の育成とは

► My Career Story

スポーツ通訳者 佐々木真理絵さん

► NEWS!

ETS CEO Amit Sevak氏が来日

► HOT WORD

“landslide”

“トランスポーダー大学”が目指す 国際人材の育成とは ～10年の取り組みとこれから～

2023年に、ルーツである師範学校の創立から151年、開学から50周年を迎えた筑波大学。研究者やスポーツ選手など、幅広い領域で世界を舞台に活躍する人材を多数輩出してきました。常に時代の先をいく教育改革を進めてきた筑波大学が目指すこれからの人材育成について、永田恭介学長にお話をうかがいました。

教育に必要なのは 学際性と国際性に富む環境

私たちの大学には、開学以来一貫して掲げている学際性と国際性を備えた「開かれた大学」という建学の理念があります。

「学際性」は一般的に、研究対象が複数の学問領域にまたがっていることを意味しますが、本学ではいろんな分野を横断的に学び、それらを統合して新しい知識や技術、価値観を創出することとして捉えています。

例えば、ロボットと暮らすことが当たり前となった近い将来、家族のように可愛がっているロボットの子犬を誰かに盗まれた、壊されたとしたら。現在の法律では盗難であり器物損壊でしかありませんが、可愛がっていた側の方にしたら、誘拐された、殺されたと同じくらいのショックを受けることでしょう。ロボットと共に存する社会になる近い将来には、ロボット工学だけでなく、哲学、生命学、法学などの垣根を越えて一緒に考えていく必要がある。これがまさに学際性なのです。

「国際性」は留学生率や、英語の授業数などが指標となります。日本の大学が国際化に取り組み始めたのは2012年頃でしたが、筑波大学では2005年度から、ベトナムをはじめ海外14カ所に拠点を置いて、海外からの留学生の誘致に取り組んでいます。国立大学における留学生比率は、たいてい東京大学と筑波大学のどちらかが1位、2位です。2024年5月1日時点では、学部・大学院を合わせて16,722名いる学生のうち約14%*が

留学生です。また、日本人学生の海外留学も飛躍的に増加しており、2023年度は1,992名の学生が留学を経験しています。

独自の取り組みで 「国際性の日常化」を目指す

この10年、「トランスポーダー大学が開く高等教育と世界の未来」というテーマのもと、文部科学省が実施するスーパーグローバル大学創成支援事業（SGU事業）に積極的に取り組んできました。トランスポーダー大学とは、国境や学問分野の壁を越えて、世界中の大学や研究機関と連携し、教育や研究を展開することを目指すものです。

グローバルな視野を持つ人材育成のための具体的な戦略の1つに、「Campus-in-Campus（CiC）」という事業があります。これは、世界中のパートナー大学と提携して共通のカリキュラムを構築し、教育と研究面で深い連携を推進するものです。パートナー大学も含めて、学生たちは他大学の現地キャンパスやオンラインで授業を受け、自分の大学にいるのと同じように単位を取得、研究をすることが可能です。

また、筑波大学では留学生と日本人混合で暮らす宿舎「グローバルヴィレッジ」を設けています。1つの部屋に日本人と留学生が5人で一緒に住むことで交流が自然と生まれます。

授業は、英語だけのクラスや日本語と英語のバイリンガルのクラスもあります。学内には気軽に食べられるハラルレストラン

筑波大学

永田 恭介 学長

1953年愛知県生まれ。1976年東京大学薬学部薬学科卒業。1981年同大学薬学系研究科博士課程修了。薬学博士。国立遺伝学研究所助手、東京工業大学助教授を経て、2001年より筑波大学教授。2013年に学長に就任。



“国際社会で活躍するための発信力を高めるために 英語力の向上は不可欠だと考えています”

もあり、これがおいしいので私もよく利用します。外国人であることや文化の違い、国境という枠を意識せず、海外に行ったような環境が普通にあるのが理想です。“日常”として一緒に暮らす「国際性の日常化」、さらにその先の「Beyond the borders」に向かい不斷の改革を続けていきます。

マレーシア政府の熱意と共に マレーシア校を開校

2024年9月に筑波大学マレーシア校が開校しました。新しい教育・研究を追求するなかで、これまでとはまったく違う教育カリキュラムを組んでみたいと考えていました。とはいっても、日本で進めるには様々な規制があって難しいだろうなと思っていたところに、マレーシアのマハティール元首相から、国家プロジェクトとして取り組むのではなくマレーシアで開校させ、日本ならではの規律や勤勉さといった価値観を取り入れた教育を行いたいという熱い要請がありました。

マレーシア校は、本学としては新学群「学際サイエンス・デザイン専門学群」として、文系や理系に偏らない幅広い分野の教育を展開し、学際的な課題解決型授業を中心とした教育を実現させていきます。

グローバル人材として必要な 英語力を高めるために

筑波大学では、国際的に活躍できる人材の育成において、英語力の向上が不可欠であると考えています。学生たちが国際社会で活躍するためには発信力、高い英語力が求められます。私も生物学のポスドクの研究者としてニューヨークに5年間留学した経験からも、英語のレベルが上がると発信力が圧倒的に変わることを実感しています。

ですから、学生が卒業後にどのような環境でも対応できるよう、実践的な英語力の育成に力を入れています。日本人は、日本語でもディベートをするのが苦手な人が多いものの、そこを乗り越えさえすれば普通に対応できるようになります。TOEIC L&Rは、大学が費用を負担し、必ず全員が1年次と3年次にカリキュラムの一環として受験しています。

翻訳ツールによって会話がしやすくなる未来も近い将来やってくるでしょう。それでも相手と対等にやっていくためには、相手の国を尊重するだけの文化的な素養と歴史的な素養を持つことが重要です。英文学などを通じ言葉の本源的なおもしろさを知ることも有効です。英語ができるようになると、さらに良いものを得ることができる、世界が広がる信じています。

My Career Story

~明るい未来の描き方~



未経験からスタートした
スポーツ通訳者の道。
役割の幅を広げながら
日々高みを目指す

スポーツ通訳者
佐々木 真理絵さん

英会話スクール勤務を経て「好きなスポーツと英語を仕事にしたい!」とスポーツ通訳の道へ。チーム専属通訳を務めたあと、現在フリー。日本人選手の海外遠征に帯同するほか、世界大会などに来日する選手の通訳、滞在中の生活サポートなども行っている。

働き始めた頃は英語が得意ではなかったと語るスポーツ通訳者の佐々木真理絵さん。

英語力を磨き、現在のキャリアを築いた道のりと仕事に対する熱意をうかがいました。

**苦い経験を乗り越える中で
少しずつ成長していきました**

スポーツ通訳者のキャリアをスタートしたのは、プロバスケットボールチームからです。実は、面接ではあまりいい反応を得られなかつたのですが、その後、試合を見に行ったときに熱意をアピールし、なんとか採用になったという経緯があります。

マネージャー兼通訳者というポジションで、本来であれば通訳業についても期待されていたはずなんですが、最初は英語力がまだ

だ足りていませんでした。

チームでは、掃除をしたり、選手のお水の準備をしたりしつつ、まずは簡単なインタビューをさせてもらうといった働き方で育ててもらいました。学びながら、落ち込みながら、それでもがんばるぞと奮起しながら……という日々でしたね。

その後、プロバレー ポールチームの通訳者に転職したとき、大きな壁にぶつかりました。バレー ポールの知識がないことをお伝えして就職しましたが、まず専門用語がわからない。言葉がわかつても、目の前の人間に“伝わるように”話すとなると、それはまた別次元のこ

とです。最初の頃は練習中、外国人コーチの言葉を一言も訳せずに終わるということもあります。恥ずかしいと思う余裕もなく「もう一度話してください」と食い下がり、伝えられる言葉を増やしました。走りながら学んできましたが、振り返れば道ができていて、今につながっているような気がします。

プロの通訳者として求められるのは 丁寧な準備とその場に応じた柔軟性

働くうえで大切にしているのは、事前準備です。例えば、会話に専門用語が5つ出てきたとして、すべてわからなければお手上げです。でも3つわかるなら、前後の文脈からなんとか推測できる。なので、できるだけ知識を増やして現場に向かいます。語彙力を増やすという勉強方法は、学生時代から変わらないですね。

2019年に日本でバレー ポールワールドカップが開催されたとき、私はオランダ女子チームの担当になりました。監督や選手の記者会見をすべて通訳しましたが、何週間もかけて準備しましたね。チームの歴史や戦歴、監督と各選手のプロフィール、直近の試合には誰が出場して、どんな戦術を採用したのか。国によって英語のアクセントも異なるので、監督のインタビュー動画を探したりもしました。それはもうマニアのように(笑)。

もう一つ大切なのが、その場に合わせた仕事をすること。スポーツといっても、世界大会、親善試合、学生の教育プログラムなど目的は様々です。学生チームを日本に迎えるなら、スポーツ以外の学びを得るチャンスも大切にしてほしい。食事の場面でも、ただメニューを訳すのではなく、「日本にはこういう文化があるんだよ」と一言添えるだけでも、将来の糧になるんじゃないかと期待しています。選手同士の交流では、あえて私がサポートしないこともあります。つたなくとも自分の言葉が通じたらうれしいですよね。ときには一步引くことも必要です。

通訳者になって約10年。様々な現場を経験するなかで、こうした考えに至ったと感じています。

「夢は簡単には叶わない」
だから簡単にあきらめないで

通訳者というと、帰国子女がなるものだと、とにかく英語がパーフェクトというイメージがあると思います。私は、英語は好きだったものの、大学時代に1年間の留学経験があるだけ。当時から、正規留学しているまわりの日本人学生の英語力は比べものにならないくらい高かったですし、通訳者として働き始めてからも、実は自分のバックグラウンドが長い間コンプレックスもありました。

それが吹っ切れたのは、結構最近のことです。英語が得意ではなかったにも関わらず、通訳者として着実にキャリアを積んでいることが、自分のアピールポイントだと気づけたんです。

実は、仕事に余裕ができたコロナ禍に、TOEIC S&Wを受けてみました。自分の実力を客観視するというだけでなく、テストのための勉強が、通訳の際にどう伝えたらいいのかという話の組み立て方を学ぶのに役立ちました。

今、力を入れているのは、通訳者になりたい若い人たちとスポーツ業界をつなぐ支援活動です。最近、スポーツ通訳をしたいという人が増えているのですが、「英語力がないから」と、一步踏み出せなかったり、現場に出てすぐ自信を失ったりして、あきらめてしまう人が多いと感じています。でも、あきらめるのが早すぎる! 私もいまだに仕事の帰り道は、「ああすればよかった」と反省ばかりしています。今日は完璧、と満足できる日はきっと来ません。百点満点の通訳はないからこそ、勉強していくんだと思います。

スポーツ通訳者を目指す人には「私もいっぱい失敗したけど、夢を叶えてがんばってますよ!」って働く姿を通して伝えたい。そんな気持ちになれたことも、自分の成長かなと思っています。



» 佐々木 真理絵さんのキャリア「これまで」と「これから」

大学時代にアメリカに
1年間留学。
現地でTOEIC L&Rを
受験し短期間で300点近く
スコアがアップ

大学卒業後、
英会話スクールに
就職

仕事に
物足りなさを感じ、
スポーツ通訳の道へ

チーム専属通訳から
フリーに。
後進の育成を
サポートする
活動を開始

仕事の幅を広げるために、
スポーツ以外の
ジャンルにも挑戦したい。
最近はボードゲームや
音楽の分野で
通訳することも!

TOEIC Programの制作元、 ETS CEO Amit Sevak氏が来日

“良質で信頼性の高いTOEIC Programを通じて、
皆様にgatewayを提供し続けます”

TOEIC Programの制作元、米国ETSのCEO Amit Sevak氏が7月に来日しました。同月、新たに理事長に就任したIIBCの藤沢裕厚との会談では、新しい時代の要請に応えていくためのTOEIC Programのあり方について話し合われ、ETSとIIBCとのパートナーシップ強化を確認しました。また、TOEIC Programを利用いただいている団体を訪問し、テストの活用について意見交換を行いました。

((ETS CEO Amit Sevak氏からのメッセージ))

はじめに、このすばらしい日本という国において、TOEIC Programが長年にわたり活用されてきた様子を感じることができる好機に恵まれ、皆様に感謝しております。

TOEIC Programが言語能力の測定を通じて、学習者や企業・学校など団体の皆様に提供しているもの——それは「gateway(目指すものへつながる道)」であると私は考えています。

TOEIC Programは公平性、妥当性、信頼性を備え、あらゆるバックグラウンドの方々のための、英語コミュニケーション能力を測定する手段としての役割を担ってきました。世界が進化するにつれ、聞く・読む・話す・書くスキルの必要性は高まり続けています。こうした変化に対応していくためにも、テクノロジーへの投資を含めた革新に注力し、皆様の活動を後押しするTOEIC Programであり続けたいと考えています。

ここで私がぜひ申し上げたいのは、ETSにとってTOEIC Programは非常に重要な存在であるということです。40年以上もの長きにわたり日本で活用され、今や世界160カ国で幅広く活用いただいていることを大変誇りに思っております。そして、これは高品質なテストを開発し、維持していることの証でもあります。

今年の4月、ETSは新たなコーポレートロゴとプロダクトロゴを発表し、自らを教育・人材ソリューションのリーダーであると位置づけました。今回のブランド変更では、人類の進歩の原動力となる「測定の科学」を発展させるというETSの強い決意を表しています。新しいロゴは、アスタリスクに上向きの斜線が入った「The Source」と呼ばれるシンボルの入ったデザインになっています。こ

れは自らが「源」として信頼される存在であり続けること、TOEIC Programを含め世界で年間5,000万のテストを提供し、その全てが厳密なデータと研究に裏打ちされた「測定の科学」に基づいていることを表しています。これからもエビデンスに基づくテストを通じて、学習者の皆様が世界中の人々とつながるための「gateway(道)」を提供していく所存です。



IIBC 理事長
藤沢 裕厚

ETS CEO
Amit Sevak氏

▼新たなロゴ

*toeic.

*toeic bridge.

HOT WORD

“landslide” [ˈlændslɔɪd]

意味 選挙での大勝

アメリカ大統領選挙が注目をあびており、選挙関連の英語ニュースでは、“landslide victory”という言葉を見聞きするかもしれません。“landslide”は「地滑り」という意味で、単独でも「選挙での大勝」を表しますが、勝利を意味する“victory”と併せて使われることの多い表現です。「地滑りのように根こそぎ票を獲得しての勝利」というニュアンスです。

慣用表現としては、動詞の“win”と組み合わせて覚えておきましょう。“win a landslide victory”や、「～によって」という意味の前置詞“by”を用いる“win by a landslide”などがあります。

“landslide”は、日常では多数決などの場面で使うこともできます。似た表現として、“dominating victory”や“overwhelming victory”を覚えておくと表現の幅が広がると思います。

使い方例

The election was initially expected to be a close race, but the young candidate won a landslide victory with much support for his policies.

選挙は当初接戦が予想されましたが、若い候補者がその政策で多くの支持を集めて圧勝しました。



Illustration: 本田佳世

早川 幸治 (Jay) さん



英語セミナー講師。自身の英語学習で身につけた上達のプロセスを体系化し、これまで全国200以上の企業で英語研修を担当。TOEIC L&Rスコアは990点。

TOEIC® Program Q & A

Q TOEIC Speaking & Writing Testsはどのように採点しているのですか？

A ETSの訓練を受けた有資格者が複数名で採点しています。

TOEIC S&Wでは1人の受験者の解答に対し、平均して10人で採点しています。解答は設問ごとに分けられ、採点者へランダムに送られます。採点者は、受験者情報はもちろん、担当している設問以外の解答・採点状況を見ることができないなど、独自のしくみを設けています。これは、先入観や偏見などによる不適切な採点を防ぐために行っています。

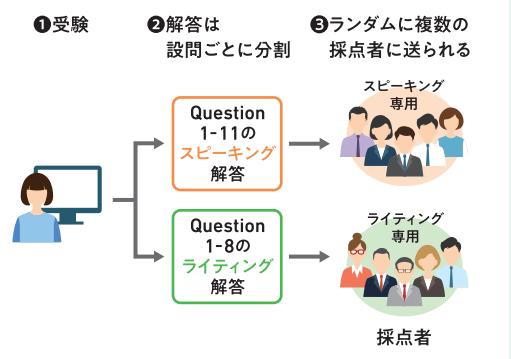
また、設問ごとに採点基準があり、スコアリングリーダーが採点の過程をモニタリングしています。さらに採点者は毎回、採点の正確度を測るテストに合格しなければならず、不合格の場合は、その日は採点することができません。このようにTOEIC S&Wでは公平かつ正確性のある採点方法を採用しています。



詳しい記事は
こちら



TOEIC S&Wの採点のしくみ ONE (Online Network for Evaluation)



[INFORMATION]

- 人気の「問題集シリーズ」がアプリに
**TOEIC公式教材アプリの
提供を開始**



『TOEIC公式教材アプリ』は、累計250万部を発行している「公式TOEIC Listening & Reading 問題集シリーズ」をそのままの内容で収録。スマートフォンで、すきま時間や外出先など、時間や場所を選ばず効率よく学習を進められるのが特長です。

機能面も充実しており、タイマー機能を使った「模試モード」や、自分のペースで学習を進められる「学習モード」を搭載。自分に合った方法で学習を進めることができます。各パートの正答率もわかるため、自身の苦手なパートを把握し、間違った問題だけを復習することもできます。2024年9月時点では5タイトルの教材を購入でき、順次教材のラインアップを増やしていく予定です。また無料の音声ダウンロードは、すでに販売されているすべての公式教材が対象です。



- TOEIC Bridge L&R
“親子で”受験
キャンペーン実施中!**

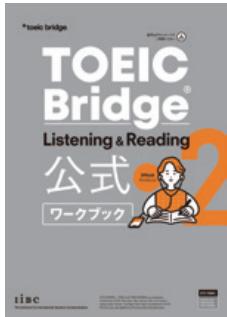
2025年1月もしくは3月実施のTOEIC Bridge L&R公開テストに親子でお申し込みいただくと、お子様1名につき500円分、1回の応募あたりで最大1,000円分の図書カードをプレゼント! 参加には、企画へのエントリーとテストへの受験申込が必要です。



- 英語初級・中級者の学習をサポート
**『TOEIC Bridge Listening & Reading 公式ワークブック 2』
が発売**

10月19日のTOEICの日に合わせて、『TOEIC Bridge Listening & Reading 公式ワークブック 2』が発売されました。

TOEIC Bridge Testsは、英語学習初級・中級者向けに開発されたテストです。



[ワークブックの特長]

- 特長1 学習テーマ別の「ユニット学習」で要点を押さえながら学習を進められる
- 1 学習ポイント
ユニットの狙いを理解
- 2 ワーク
解き方のコツを押さえる
- 3 ミニテスト
知識を定着

- 特長2 実践テスト2回分を掲載。学習の総まとめとして、力試しや本番前の予行演習ができる

- 特長3 丁寧な解説と音声教材により、効率よく復習・弱点補強ができる



あなたが世界をつなぐ
あなたと世界をつなぐ

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

IIBC公式サイト <https://www.iibc-global.org>

外部からの寄稿や発言は、必ずしも当協会の見解を表明するものではありません。

本誌は公式サイトでもご覧いただけます。

[https://www.iibc-global.org/
iibc/activity/iibc_newsletter.html](https://www.iibc-global.org/iibc/activity/iibc_newsletter.html)

IIBC NEWSLETTER

検索



【お問い合わせ】
広報・CSR チーム pr@iibc-global.org